

グループ発表

A グループ「広小路（広場）としての使い方・必要な取り組み」

- みなさん話は小径が中心だった。
- はやしやさん・ひらのさん隣から入ってずっと教会へ来る道、またショップコアから入れる（赤線）ようにしたらどうか。小径には花壇、畑があるのでオープンガーデンにしたらどうか。
- 児童館の話も具体化されたので、ヒラノさんから入れる道だけではなく、児童館の西側・裏側を通過して教会へ、また、城山や稲荷の方へつながっていくルートをつくることができる。
- 関スタジオから学校の角への道を広げたらどうか。電柱を地中化したらどうか。
- 田中屋さんの酒蔵の裏で水尾バーできないか。
- 古い門があった。まるやさんの所に立てかけてあるので活用できないか。
- 児童館の様々な機能があり敷地的にはいっぱいであるとのこと。教会とつなぐには、児童館の入口を南向きにしていただきたい。裏からの出入りだと目も届かない場合もある。
- 我妻さんの昔話をぜひ録画していきたい。アイネットで番組化したら取り組みをしたい。

B グループ「小路の名称とハナのつくり方」

- 昔の弓町、肴町、人形館への道は「弓町小路」、愛宕町の火の見櫓があることで「火の見通り」。
- 田中屋さんヒラノさんがある通りは昔「市みち」だったとのこと。
- のたじゅうさんの広場は2つあり、「祈りと実りと歌のある庭園」、昔りんご園があったので「りんご広場」。
- 今の飯山小学校に抜けていく道は（車が通り）歩行者の安全からだと厳しい。市みちから教会に抜けていく道は、子供優先で児童館に抜ける裏道とし、子どもはみんな天使だということから「天使の小路」としたらどうか。復活教会の横も天使の小路になっている。
- 教会の愛称はねむの木が立っていることから「ねむの木教会」でどうか。
- 教会前の通りはスタンダードに「教会通り」。尾千代保稲荷のある通りは「尾千代保通り」。
- 南側から城址公園に抜けていく道はさくらの木があることから「さくら通り」。また、元々ある石垣のある名称を使ったらどうか。
- 教会に花が植えられているが、児童館にも同じ花壇を設けて花を植えて統一感を出したらどうか。

Cグループ「教会の活用・子供の拠点づくり」

- 教会と児童館を一体的に利用するように考えたかどうか。児童館が狭いなら教会の方を庭として利用する。
- 教会自体は広小路のシンボルとして周りを含めて賑わいの創出に寄与できないか。月に1回位は何かイベントができないか。
- ヒラノさんからの小路と児童館（敷地）内も小路を整備し回遊させたらどうか。
- 教会利用として外人の観光客の礼拝案内、記念写真の場になればいい。
- 教会の歴史的な価値が分かるパンフレとも必要。

まとめシート

Aグループ：広小路（広場）としての使い方・必要な取り組み

	●実現する具体的な取り組みは？	●その取り組みに対して自分は何に出来る（役割）？
1	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 表通りから教会までの小路を作る。 ◆ その沿道に花畑があるので借景的利用する。 ◆ 教会の庭を芝・花等で整備し、いつでも子供達が入れたり、小イベントができる様にする。 ◆ 畳の教会は飯山のみと思われ、これを観光に利用させてもらう。 ◆ 日曜の例はをインバウンドに。 	◆
2	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 広場（広小路）の活用としては、児童館の子供達が集えるような遊び場としての使い方もできる。 ◆ 結婚式 	◆ 今ある教会の「天使の小路」を市道通りまでつなげて児童館まで行けるようにする。ヒラノの敷地を通る所に花壇があるので整備してきれいにしたい。（オープンガーデン）
3	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 児童館、教会、ヒラノをつなぐ小路整備 ◆ 児童館の子供の遊び場としての教会 ◆ 教会の芝生化 ◆ 古い門の活用（まるや横に立てかけてある） 	◆
4	<ul style="list-style-type: none"> ◆ パティスリーヒラノ北側からの小路~教会へ通じる小路を地主さんの許可を得ながら作る。（天使の小路へ通じる小路） ◆ 小さなオシャレな案内看板を表通りにたてる。 ◆ 我妻英雄さんの語り全てをCD化。アイネットでドキュメンタリー番組も提案する。昔の仲町、教会、広小路のエピソード、歴史を全て語っていただき保全し後世に伝えたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 関係者、行政、商店街との連携と合意形成のお手伝い。 ◆ エピソード、歴史、テーマの設定と連絡調整。

Bグループ：小路の名称とハナのつくり方

	●実現する具体的な取り組みは？	●その取り組みに対して自分は何に出来る（役割）？
5	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 教会の愛称（案） ねむの木の教会 ◆ 古い時代の町名の復活（掘り起こし） 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 活動のお手伝いは出来そう！！
6	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 場所や小路の具体的な名称が決まったので、来年のGWまでに（雪解け後に）案内板を設置して名称の定着を図る。 ◆ 場所と小路の名称、由来をまとめた資料をA4位で作ってまず寺めぐり案内人さんと一緒にまわってみる。（3～4月頃） ◆ 市民、周辺住民などにも広く名称について知ってもらえるよう広報する。またあわせて様々なご意見を頂戴する。（1～2月頃） ◆ 3月までの成果をイラストマップにまとめて皆が使えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 来年のGWに人形館からの“ワンコンツアー”の中に、広小路へのツアーを組み込んでいく。
7	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 小路の名前（案）を決めていく（別紙） ◆ 子ども館と教会に同じ花を植えて統一感を出す。 ◆ 花の名称に見合うものを（リンゴの広場であればりんごの木を植える等） 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 花の苗の配布（宿根草、市の事業として）
8	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 小路の名称をつける。（歴史・いわれ・土地の環境などにより） ◆ 親しみやすく覚えやすく印象に残るもので、その場所にふさわしいものを基準とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 子どもにも説明できるわかりやすい名前でも覚えやすいものを厳選してみる。

Cグループ：教会の活用・子供の拠点づくり

	●実現する具体的な取り組みは？	●その取り組みに対して自分は何に出来る（役割）？
9	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 教会と児童館を一体的に利用、児童館の庭 ◆ 教会を広小路のシンボルとして、教会と児童館、その周りを含めた中でイベント等にぎわい創出に利用（月に1回位は何かやっていたら） ◆ 教会はだれものが利用できる場となれば。 ◆ ヒラノ→教会→児童館→いなり 小路として回遊ルートに、そして城山が繋がれば。 ◆ 外人観光客の礼拝として案内、記念写真 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 教会のパンフ（歴史的価値が分かる）
10	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 教会と児童館を一体化する。教会の庭で子どもが遊ぶ、お母さんたち（大人）がベンチに腰掛けて休むなどのお喋りもし、くつろぎ空間に。 ◆ 歩くルートを作って城山へつなげていく。（パティスリー横から教会に庭へ入って児童館の方へ）ことで回遊性を持たせる。 ◆ 「天使の小径」ネーミングとする。 ◆ 駐車場はどうする？どこに？ 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 花の植栽、そうじなどやらせて。

	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 関スタジオから入る道路を整備する。スピード出ない。 ◆ 児童館の向きを南向きにして教会と一体化。 ◆ パンフレット（歴史的価値の案内）案内板 ◆ 児童館の方にどんどん利用していただいて。 	
11	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 教会の活用だけでなく、その周辺の歩道（人の歩く道）の整備 ◆ こども館の整備に合わせ、こども館の敷地へも歩道の設置が可能では。→おいなりさん～城山へ ◆ こども館用地だけでは子供の遊び場等不足、教会（及びその周辺も）こども達のたまり場（子育て支援利用の母親のたまり場）として活用 ◆ 教会イベントとこども館イベントの合同開催 ◆ 日曜学校（教会） ◆ 関スタから小学校への道路（スピード出ない様に、石だたみ） 	◆
12	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 児童館建設の計画が分かり、教会としての今後の在り様も考えられた。 ◆ 教会（共存と広がり）～様々な視点で多くの方に知っていただく～開かれた教会として ◆ ホームページやパンフレットの作成が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 教会より庭の清掃（オープンガーデン） ◆ 我妻さんお話をまとめる。 ◆ ホームページやパンフレットの作成 ◆ オープンカフェ、月1～2回でも実施（ヒラノさん、エルクさんとの連携）
13	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 教会と児童センターに共通性を持たせ、関係づける（庭同士に同じ花を植える等） ◆ 小路を児童センターの中を通して尾千代保稲荷さんまでつなげて子供達がかけまわる様にする。（天使の小径をつなぐ） ◆ 教会前の道路は石だたみ風にして車がスピードを出さない様にすると子供達も危なくない。 ◆ 教会を日曜日にオープンして子供達が自由に遊べる様に。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 子ども館の計画に生かす様にする。 ◆ 広小路のコンセプトを理解する。